

みなさんの暮らしを守ります！



こちら消防 119

火災のない楽しい行楽シーズンを
過ごしましょう！

初夏を迎え、行楽シーズンが到来すると、キャンプやレクリエーションで山に入る機会が増えます。

林野火災においては、たばこのポイ捨てによる出火は、喫煙マナーの向上もあり減少傾向にあるものの、依然として出火原因の上位です。また火入れが原因の出火も後を絶たず、たばこ、火入れおよびたき火によるものが約半数を占めます。この時期は降水量が少なく、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなっていますので火の取り扱いには十分注意してください。



～ 次のことに注意しましょう！～

- たばこは灰皿のあるところで吸うか、携帯灰皿を携行し、火を消して吸殻を必ず持ち帰りましょう。
- 車からのポイ捨ては絶対にやめましょう。
- 火入れの際には、事前に最寄りの消防署に連絡しましょう。
- 火災警報発令中は火の取り扱いを控えましょう。

宇部・山陽小野田消防局企画調整室 (☎ 21-6119)



子育て 情報ナビ

5月は児童福祉月間です。子どもと過ごす時間を大切に。

子どもが健やかに育つことは、社会の宝である子どもたちに対する国民のすべての願いです。こうした中、5月5日の「こどもの日」を中心とした5月1日から31日までを「児童福祉月間」と定め、子どもが家庭や地域において愛情に包まれ、夢と希望を持って、たくましく育つ環境・社会を作っていくよう啓発事業等を展開しています。

児童福祉月間を契機に、子どもと一緒に遊ぶなど、子どもと関わる時間を多く持ち、子どもが家庭や地域において豊かな愛情に包まれながら、夢と希望を持ち個性豊かに、たくましく育っていきけるような環境や社会を作っていくことが重要です。

近年、少子化の進行、家庭や地域の子育ての機能の低下、児童虐待の増加など、子どもと家庭をめぐる環境は大きく変化しています。そうした中、孤独感や疎外感を味わうことなく、家族とそして地域のかかわりの中で育っているという感覚を子どもたち自身に持たせることが大切ではないでしょうか。



こども福祉課 (☎ 82-1175)



【問い合わせ先】
環境課 ☎ 82-1143

■紙パックの出し方

牛乳やジュース、お酒などの容器として使われている紙パックのリサイクルには、次の点に気をつけてください。

- ・注ぎ口などのプラスチック等は切り取って外す。
- ・きれいに洗って汚れを取り除いて切り開き、乾燥させる。

※内側が銀色の紙パックはリサイクルできません。「燃やせるごみ」の日に出してください。



資源ごみ売却収入	3月分	3,167,722円	平成23年度累計	53,547,538円
指定ごみ袋手数料収入		1,250,641円		17,467,481円